

## 令和5年度事業報告

### 1 概要

【概況】 新型コロナウイルス感染症の位置づけが令和5年5月に「5類感染症」へ移行し、人の流れも徐々にコロナ前に戻ってきた。記念館入館者も、順調に推移し、令和6年元日の能登半島地震発生による影響も最小限に収まり、当面の目標としてきたコロナ発生前の年間7000人を回復することができた。特に秋の特別展「棟方志功と會津八一 ―知性と感性―」は平成26年度以来となる4000人超えを実現した。さらに春、夏、冬の企画展も合わせて3000人を超えた。

【特別展】 令和5年は「世界のムナカタ」といわれた日本を代表する板画家・棟方志功の生誕120年にあたり、全国各地で関連する展覧会が開催される中、当館では會津八一と棟方志功の交流に焦点を当てた独自の展示を展開した。棟方作品に會津が後に揮毫した“合作”や、空襲で焼けた板木に描かれていた菩薩図の代わりに「文殊」「普賢」と大きな文字で棟方が揮毫した貴重な「二菩薩釈迦十大弟子」の六曲一双屏風を中心に二人が互いに尊敬の念を持ちながら交流していたことを示す資料を掘り起こして紹介した。上記の合作「普賢菩薩図」をポスターや図録、広告で掲載したところ、大きな反響を呼び、1日で100人以上の来館者を記録した日も多く、入館者数は4154人の盛況だった。

【企画展】 春は「八一を知る 八一がわかる」シリーズの第3弾「短歌編」を開催した。27歳の時に初めて奈良を訪れた時に詠んだ歌から、生涯最後の歌となった歌まで、墨蹟、原稿、歌集などで紹介した。夏は會津八一が東京の空襲で被災し、晩年10年ほどを過ごした北方文化博物館新潟分館と江南区沢海の本館に残る八一関連資料を合わせて展示した。冬は俳句や水彩画で高く評価され、八一の主治医を務め、日本の脳神経外科の礎を築いた中田瑞穂の生誕130年を記念し、「詩書画の美 ―會津八一と中田瑞穂―」を開催した。3企画展の合計入館者は3103人となった。

【八一祭(7月30日)】 令和4年末に奈良の世界的な石工・左野勝司さんから新潟日報社に寄贈された、八一作品を忠実に再現した石版9枚を借用し、高校生にも八一作品の素晴らしさを知ってもらおう契機にしようと、初めて「高校生拓本大会」を開催した。大会には市内8つの高校書道部から50人ほどが参加し、「獨往」や、「あめつちに」などの歌が彫られた石版とじっくり向き合ってもらい、たいへん好評だった。

【写真コンテスト】 17回目を迎えた「秋草道人賞・写真コンテスト」には全国17都府県から137点の応募があった。応募点数は昨年より減少してしまっただが、八一の歌をモノクロームの世界で表現する手法が目目を引いた。

【普及活動】 ①館長連続講座 令和3年度から始めた野中浩俊館長による連続講座「書に親しむ(3)」は4回開催。4回すべての受講を希望した方には「書的美ヒストリア」の図録を進呈すると募集したところ、初回で4回分全体の7割ほどの受講者を確保できた。

### 2、事業の内容

#### (ア) 展覧会事業

常設展経費 2,491,773 円 (4年度=2,632,962 円=比 5.4%減)

特別展経費 3,784,711 円 (4年度=3,831,436 円=比 1.2%減)

	4年度 入館者数	4年度 開催日数	4年度 入館累計	5年度 入館者数	5年度 開催日数	5年度 入館累計
4月	238	23	238	304	24	304
5月	355	26	593	415	26	719
6月	326	26	919	415	22	1,134
7月	360	21	1,279	305	24	1,439
8月	201	26	1,480	317	27	1,756
9月	436	22	1,916	307	21	2,063
10月	1,068	25	2,984	1,600	25	3,663
11月	1,381	26	4,365	1,804	26	5,467
12月	553	17	4,918	815	17	6,282
1月	244	24	5,162	280	24	6,562
2月	276	24	5,438	346	25	6,908
3月	444	23	5,882	354	21	7,262
合計	5,882	283		7,262	282	

5年度観覧料収入＝総額 2,454,750 円 (前年度比 480,960 円増)

特別展：1,529,750 円 (同 487,250 円) 常設展：925,000 円 (同 6,290 円減)

【特別展】＝本年度は棟方志功生誕 120 年を展示タイトルの冠として表記した

**棟方志功生誕 120 年 會津八一と棟方志功 -知性と感性-**

会 期：令和 5 年 1 0 月 3 日（火）～1 2 月 1 0 日（日） 開催日数 60 日間 図録 2 2 1 冊販売

会 場：新潟市會津八一記念館

入館者数：4, 1 5 4 人（前年度＝令和 4 年 10 月 4 日～12 月 11 日「仏像の美 - 飛鳥園と會津八一 - 」2, 965 人）

主 催：公益財団法人會津八一記念館、新潟市、新潟日報社、BSN 新潟放送

特別協力：南砺市立福光美術館（富山県）、躰飛山光徳寺、公益財団法人美術育成財団雪梁舎

協 力：浅川園、今成漬物店、大阪屋、里仙、高橋酒造

後 援：朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、

日本経済新聞社新潟支局、共同通信社新潟支局、時事通信社新潟支局、

NHK 新潟放送局、NST 新潟総合テレビ、TeNY テレビ新潟、UX 新潟テレビ 21

板画家・棟方志功（1903～1975）の生誕 120 年を記念し、八一と親交を結んでいた棟方の強烈な個性を響き合わせた 2 人展を 20 年ぶりに開催した。特別展では、知性溢れる八一と感性豊かな棟方が書と板画で共鳴し、合作した双幅をはじめ、棟方作品では八一との交わりが顕著だった富山・福光時代の板画、倭絵、書を、八一作品では富山県福光や新潟県内の棟方ゆかりの地にある墨蹟を中心に展示した。期間中、雪梁舎美術館でも棟方展を開催しており、両館の入館券半券で相互に割引するサービスを提供し連携を図った。（雪梁舎の半券持参の入館者 153 人）また、3000 人目、4000 人目の入館者にはミュージアムグッズを贈呈し、記念館ホームページで広報した。

本展を開催したことを契機に、個人宅から借用した 2 点（棟方志功 扁額《佐久間書店》、會津八一・棟方志功《貼り交ぜ屏風》）と、棟方志功の孫・石井頼子氏から會津八一書簡棟方志功宛 1 通の計 3 点が当館に寄贈、寄託され、新たな収蔵品に加えることができた。

アンケートでは、「棟方志功先生の板画を拝見出来とてもよかった。新潟とのつながりもわかり有意義だった」「作品解説会や棟方さんの DVD の上映はよかった」などの感想が多くあり、展示内容は概ね好評だった。一方で「展示数が少ない」「他館では撮影が可能なのに記念館では不可なのは不満」との苦言もあった。大型作品を展示した場合の満足度や撮影を認めるブースを設けるなど今後の課題を残した。

【企画展】

① 八一を知る八一がわかる -短歌編-

会 期：令和 5 年 4 月 4 日（火）～6 月 25 日（日）

開催日数：72 日間 簡易図録 8 9 冊販売

入館者数：1, 1 3 4 人（前年度＝春「會津八一名品 50 選」発刊記念 獨往の書〈漢字・かな〉編 982 人）

八一を知るための入門編としたシリーズ第 3 弾。今回は短歌をテーマにした。展覧会では 2 7 歳の時に初めて奈良旅行で詠んだ歌から、生涯で最後となった香川県八栗寺の梵鐘に鑄込まれた歌に至るまで、年代順に八一の歌を墨蹟、原稿、歌集などで紹介し、八一の人生を辿った。また、相馬御風生誕 140 年を記念し、八一と御風が敬慕した良寛の書作品や遺品なども展示した。

アンケートでは、「會津八一について何も知らなかったが、今回詳しく分かった。八一の歌は声に出して詠むとよいことが印象的だった」「糸魚川出身、相馬御風と會津八一の接点が分かり面白かった」「鉢の子に直接触れた八一の感動が御風所蔵の良寛墨跡にまで及ぶとは、八一らしいというか展示が工夫されていてよかった」と、初めて八一に触れる来館者に展示の内容が理解されたようだ。また、展覧会ごとの「クイズ」を毎回楽しみにしている感想もあった。

② 越後の豪農 北方文化博物館と會津八一

会 期：令和 5 年 7 月 4 日（火）～9 月 24 日（日）

開催日数：72 日間 簡易図録 6 4 冊販売

入館者数：9 2 9 人（前年度＝夏「會津八一名品 50 選」発刊記念 獨往の書〈八一の手紙編〉」934 人）

北方文化博物館が所蔵する會津八一の書を中心に、ゆかりの作品資料を紹介した企画展。八一は、北方文化博物館を開館した大地主・伊藤家と若い頃から交流があり、晩年 10 年間を北方文化博物館新潟分館の洋館で過ごしている。展覧会では八一の軸や額作品以外にも、揮毫した看板をはじめ、新潟分館に建つ八一の歌碑「かすみつつ」の書の原本、伊藤家に宛てた書簡など、様々な種類の作品資料を展示した。

アンケートでは、「會津八一や北方文化博物館に関心を持てた」、という感想以外にも、展示で紹介した「昭和 25 年に北方文化博物館で開催した良寛展の内容に興味をわいた」、との記述が複数あった。

期間中、当館の展示入場券半券で、北方文化博物館新潟分館の入場割引が受けられるサービスを行ったが、宣伝が行き届いていなかったせいか、サービスを受ける人はほとんどいなかった。

③ 中田瑞穂生誕 130 年記念 詩書画の美 - 會津八一と中田瑞穂 -

同時開催：第 17 回秋艸道人賞「會津八一の歌を映す」写真コンテスト入賞入選作品展

会 期：令和 5 年 12 月 19 日（火）～令和 6 年 3 月 24 日（日）開催日数 78 日間。簡易図録 3 3 冊販売

入館者数：1, 0 4 5 人（前年度＝會津八一 折って広がる美の世界 -屏風・折帖・扇子を中心に-1, 001 人）

中田瑞穂（俳号：みづほ 1893～1975）の生誕 130 年を記念して、当館所蔵の中田にまつわる作品や、會津八一と中田の交流がわかる資料を中心に紹介した企画展。中田は世界的な脳神経外科医で、俳人としても活躍し、新潟の文化振興に寄与した人物として知られている。

また、中田は実物をそのままの色形で描こうとする写生画も得意で、八一と多くの合作を残している。展示では中田との合作以外にも、八一の俳画作品なども陳列し、八一の自画賛も紹介した。来館者の中には、絵と書の関係性を考えながら鑑賞した人も多かったようで、「絵と書が引き立て合っていた」などの感想があった。中田は同じ医師で俳人の高野素十と親友で、共に高浜虚子に師事していたため、その関係に関心を持ったことをアンケートに記入した来館者もいた。

写真コンテスト入賞入選作品を同時開催したため、作品出品者や愛好家の来館もあった。

（展示に対する評価）＝入館者アンケート結果（○は好評、△は不評）

回答者 539 名（回答率 7.4%） ※前年 502 名 回答率 8.5%

展覧会名	作品解説の評価	展示量の評価	全体的評価
會津八一と棟方志功	○ 88% △ 11%	○ 83% △ 16%	○ 93%（とても良かった 59%、良かった 34%） 普通 4%
八一を知る－短歌編－	○ 88% △ 10%	○ 87% △ 11%	○ 92%（とても良かった 56%、良かった 36%） 普通 5%
北方文化博物館と八一	○ 90% △ 7%	○ 89% △ 8%	○ 93%（とても良かった 67%、良かった 26%） 普通 4%
詩書画の美	○ 92% △ 8%	○ 87% △ 13%	○ 95%（とても良かった 59%、良かった 36%） 普通 5%
合計	○ 89% △ 10%	○ 85% △ 14%	○ 92%（とても良かった 59%、良かった 33%） 普通 5%

（接客に対する評価）良い 66% 普通 31% 悪い or 無回答 3%

（主な来館者）※当館理事、評議員は除く

4 月＝文化の記憶館理事長・長谷川義明氏、會津八一記念館元学芸員・近藤悠子氏（4 日）、工芸家・亀倉芸氏、書家・佐藤雅風氏（6 日）、新潟日報新人研修、山形県議会議員・船山現人氏（14 日）BSN 顧問・竹石松次氏（15 日）文信堂・西村会長、書家・佐藤奎玉氏（16 日）、日報新入社員（20 日）、新潟県立江南高校・泉田教諭（22 日）、書家・薄田逸齋氏（23 日）、書家・今井昭友氏（25 日）、日報写真部員（27 日）、新潟市立黒埼中学校・鈴木智教諭（29 日）

5 月＝新潟第一高校・藤澤健一校長（5 日）、書家・若林溪竹氏（13 日）、書家・和田紫陽氏（21 日）、新潟市湯東樋口記念美術館・橋本博文館長（24 日）、新潟高校・松本直美教諭（25 日）、元敬和学園大学教授・北島藤郷氏（27 日）新潟市立坂井輪中学校・寺本正和教諭（28 日）、書家・大井岳陵氏（31 日）

6 月＝中条會津八一会・河内博栄氏（2 日）、書家・鈴木晴雨氏夫妻、東京書壇院の書家、新潟東高校・小川貴史教諭（4 日）、MOA・石原正也氏（6 日）、研究者・中野遵氏（10 日）、新潟高校・阿部美和子氏（18 日）、書家・三膳春雪氏、金子蘭香氏（20 日）、新潟中央高校・小林靖明教諭、新潟市立西内野小学校・高橋美穂教諭、會津八一記念館元事務長・武藤斌氏（24 日）

7 月＝書家・岩田佳香氏（4 日）、新潟市立北区博物館・神田直子学芸員（5 日）、新潟市立歴史博物館・中村学芸員（8 日）北方文化博物館・伊藤勝也理事長、田中茉莉恵学芸員（11 日）、新潟絵屋・田代早苗氏（13 日）、糸魚川市文化振興課・榊氏（23 日）

8 月＝書家・手島泰六氏（1 日）、書家・桑山戯魚氏（3 日）、新潟市消防局員（10 日）、書家・玉木白雲夫妻（12 日）、八一の縁戚・布川はる子氏とご子息（13 日）、声学家・小川恒子氏（24 日）、田中泰阿弥研究会・三鍋光夫氏（29 日）

9月＝文芸評論家・若月忠信氏（2日）、糸魚川保護司会（5日）、燕市分水良寛史料館・松井淳館長（15日）、元県  
会議員・吉田六左衛門氏（17日）、美術史家・山浦建夫氏（20日）、てんゆう花・高橋裕子氏（22日）、考古  
堂・柳本雄司会長（24日）

10月＝新潟第一高校・星憲一郎教諭（5日）、雪梁舎美術館・捧実穂理事長（6日）、木戸中学校・渡部牧子氏（8日）、  
寄贈者・反町尚子氏（9日）、新潟県立歴史博物館・小原清文館長（11日）、早稲田大学・田中愛治総長、早  
稲田稲門会、書家・江川蒼淵氏、伊藤省風氏、書壇院・横山理事長（15日）、安吾風の館・斎川英子氏（18  
日）、長岡農業高校・小黑哲也教諭、新潟観光親善大使・矢部望実氏、新潟芸術文化振興財団・徳永健一理  
事長（21日）、絵手紙講師・丸山節子氏（22日）、新潟県立高田北城高校・坂井真知子教諭、新潟県立十日  
町総合高校・金子達雄教諭、新潟県立新井高校・成田俊樹教諭、新潟県立新津南高校・安中景子教諭（26  
日）書道研究書韻会・岸本雄心会長（29日）、南砺市立福光美術館・高島裕学芸員（31日）

11月＝寄贈者・武田文夫ご夫妻と親族（1日）、新潟市・中原八一市長（2日）、新潟市監査・養田氏（3日）、新潟  
フジカラー・小林氏（10日）、新潟市立新津第二中学校・甲田治教諭（11日）、花蹊記念資料館・横田恭三館  
長（12日）、寄贈者・齋藤尚明氏（14日）、書家・小川和恵氏（16日）會津家縁戚・黒杉千章氏（17日）、棟  
方志功の孫・石井頼子氏（18日）、寄贈者・長道雄氏（21日）、書家・菅野麻里子氏（23日）、東京学館新潟  
高校・田村裕教諭（25日）、聖籠町図書館・齋藤和子氏、西内野コミュニティ協議会・大島宏之氏（26日）、  
東京外国語大学・村尾誠一名誉教授、亀田福寿大学団体（29日）

12月＝寄贈者・鶴田邦子氏（6日）、版画家・吉田志麻氏（7日）、新潟市美術館・藤井学芸員（8日）

6年1月＝小泉八雲記念館・小泉凡館長、小泉祥子学芸員（6日）、書家・原奈緒美氏、寄贈者・小林時夫氏（20日）、  
新潟工業高校・佐藤雄司教諭（21日）、書家・菊田竹子氏、新津第二小学校・永井喜嵩教諭、江戸千家・  
川上宗雪家元夫妻（28日）

2月＝黒埼地区公民館・伊賀佳代子氏（4日）、アナウンサー・中津川英子氏（8日）、新潟科学技術学園・池田  
優花教諭（11日）、書家・渡辺南嶂氏（18日）、飛鳥園仏像写真家・若松保広氏（24日）

3月＝書家・今井暁歩氏（10日）、書家・樋口志保氏（13日）、新潟経営大学・丸山圭子氏、ゆいぽーと・小川  
弘幸氏（14日）、書家・浅見章子氏（19日）

## （イ）講演会事業

### 【記念館自主企画】

八一祭 高校生拓本大会（無料）

講演者：角田勝久氏（新潟大学准教授）、小黑哲也氏（新潟県立長岡農業高校教諭）

日時：令和5年7月30日（日）午前9時～午後12時30分

会場：日報ホール（新潟日報メディアシップ2階）

参加者：49人（新潟市内の高校8校）

### 特別展関連イベント①

トークイベント（有料1,500円）

テーマ：「表現すること -ほとぼしる個性-」

対談：松村雄基氏（俳優）、角田勝久氏（新潟大学准教授）

日時：令和5年10月24日（火）午後2時～3時半

会場：日報ホール（新潟日報メディアシップ2階）

入場者：107人

### 特別展関連イベント②

記念講演会（有料1,000円）

テーマ：「會津八一と棟方志功 -慈愛と敬愛の交流記-」

講演者：石井頼子氏（棟方志功の孫、棟方志功研究者）

日時：令和5年11月18日（土）午後2時～3時半

会場：日報ホール（新潟日報メディアシップ2階）

入場者：115人

春季企画展関連 文芸講演会（有料 500円）

テーマ：「八一の歌と生」

講師：山田富士郎氏(歌人、現代歌人協会会員)

日時：令和5年6月2日(金) 午後2時～3時半

会場：日報ホール(新潟日報メディアシップ2階)

入場者：89人

夏季企画展関連 文芸講演会(有料 500円)

テーマ：「北方文化博物館、會津八一を語る」

講師：伊藤勝也氏(北方文化博物館理事長)、田中茉莉恵氏(北方文化博物館学芸員)

日時：令和5年8月29日(火) 午後2時～3時半

会場：日報ホール(新潟日報メディアシップ2階)

入場者：56人

冬季企画展関連 文芸講演会(有料 500円)

テーマ：「脳外科の父・俳人みづほ 心友秋艸道人と俳句」

講師：山内春夫氏(新潟大学名誉教授、医学部(若萩))

日時：令和6年3月7日(木) 午後2時～3時半

会場：日報ホール(新潟日報メディアシップ2階)

入場者：93人

### (ウ) 普及活動事業

① 野中館長連続講座「書に親しむ」会場：日報ホール(有料 4回連続2000円 1回500円)

第1回目 5月11日(木)「書とその周辺」 88人

第2回目 7月11日(火)「中林梧竹と副島蒼海」 90人

第3回目 10月17日(火)「棟方志功の書」 98人

第4回目 令和6年2月18日(日)「現代の書 - 現状と課題」 86人

② 作品解説会

・新潟市會津八一記念館企画展＝講師：野中館長、喜嶋、湯浅学芸員

野中館長：令和5年6月4日(日)、9月3日(日)、11月5日(日)、令和6年3月10日(日)

学芸員：企画展会期中 第2、4日曜日 午前11時～正午

③ 八一さんのいしぶみ散歩

野中館長、喜嶋学芸員同行解説

日時：令和6年3月23日(土) 午後1時～3時半 (令和5年10月28日雨天中止分の代替え)

コース：万代～川端町～古町通～西堀通～一番掘通町 約3.5km

参加者：14人(雨天のため途中2人離脱)

④ 出前講座＝その他の団体主催による講演

・6月15日 講演「會津八一と奈良美術」  
主催：中条知新大学(高齢者)  
会場：胎内市中央公民館

講師：湯浅学芸員 30人

・7月24日(月) 講演：「會津八一の魅力と修学旅行案内」  
会場：県立新潟高校

講師：湯浅学芸員 360人

・10月31日(火) 講演：「名誉市民 會津八一の魅力ー會津八一と棟方志功ー」  
主催：新潟市高齢者福祉大学  
会場：新潟市福祉協議会

講師：喜嶋学芸員 39人

- ・12月19日（火）講演：「會津八一の生き方～学規を題材に～」  
会場：胎内市立胎内小学校 小学5年生 講師：喜嶋学芸員55人
- ・令和6年
- ・2月19日（月）講演：「楽しい日本美術の見方」  
主催：西新潟オープンカレッジ〔教養学部〕  
会場：小針青山公民館 講師：湯浅学芸員30人
- 3月9日（土）講演：「會津八一の晩年（北方文化博物館を舞台として）」  
主催：荻川コミュニティー振興協議会生涯学習部  
会場：秋葉区荻川コミュニティーセンター 講師：喜嶋学芸員28人
- ・3月9日（土）講演：「會津八一と奈良の寺」  
主催：とよさか中高年教養大学  
会場：豊栄公民館 講師：湯浅学芸員28名

⑤ 16回秋草道人賞写真コンテスト入賞入選作品 巡回展

会場	開催期間	備考
1 いかるがホール（奈良県斑鳩町）	4月12日～4月30日	入賞作品7点＋関西入選者
2 奈良県立図書情報館	5月16日～5月28日	入賞入選30点
3 中村屋サロン美術館	6月7日～7月9日	入選入賞30点
4 三千院	7月21日～8月27日	入賞作品7点
5 高松市市民活動センター	10月4日～10月30日	入賞入選30点、複製作品、浅井慎平作品3点
6 胎内市産業文化会館	11月10日～11月12日	入賞入選30点、浅井慎平作品15点

**(エ) 学習講座**

- ・會津八一の歌を読む会 講師：若月忠信氏（文芸評論家）  
砂丘館 毎月第1土曜日 受講者13人

**(オ) イベント**

- ・「會津八一の歌を映す」第17回秋草道人賞写真コンテスト（総事業費2,764,933円）

公募期間 4月から11月（作品搬入11月1日～12日）  
 応募点数 137点（前回184点）  
 応募人数 93人〈県内63人 県外30人〉（前回123人）  
 審査委員 浅井慎平（委員長）、若松保広、村尾誠一の3氏  
 審査会 11月30日（木）14時～17時 日報ホール  
 審査結果 秋草道人賞に新潟市の安部諭さん  
 奨励賞は7点（県内6人）、入選は23点（県内19人）  
 記者発表 12月1日（金）午前10時半～  
 會津八一記念館会議室 浅井委員長、野中館長、水本事務長  
 授賞式 作品講評会＝令和6年2月24日（土）グランドホテル 14時～16時（祝賀会＝16時半～18時）

**(カ) 鑑定会**

（経費192,170円）

春の部 令和5年6月10日（土）総点数22点 認定数5点 収入39万円  
 秋の部 令和5年11月2日（木）総点数7点 認定数4点 収入19万円

(キ) 新収蔵品

○寄贈 會津八一の墨蹟	1点
會津八一・棟方志功の貼り交ぜ屏風	1点
會津八一の書簡	5点
會津八一の遺品	1点
○寄託 棟方志功書	1点

寄贈と寄託＝合計9点

(ク) 販売活動

- ・「学規」割引セール 実施期間5年度(5年4-5月、6年2-3月)  
額装8点 色紙15点 販売合計152,750円

(ケ) 広報活動

①新聞

[新潟日報]

<記事>97回(令和4年度・記事108回)

「展覧会へようこそ」3回、特別展「會津八一と棟方志功」作品解説5回(朝刊文化欄)

ほかに特集記事(特別展、写真コンテスト入賞作品紹介)、企画展や會津八一の話題、募集・お知らせ

<広告>新潟日報145回(令和4年度144回)

- ・企画展、特別展 124回<新潟日報朝刊、おとなプラス>(令和4年度120回)
- ・「学規」販売広告 20回<同>(令和4年度20回)
- ・名刺広告 1回＝新年名刺広告(令和4年度2回)

②テレビ、ラジオ

[BSN新潟放送]

○テレビ：・八一祭「高校生拓本大会」 令和5年8月1日(火) BSNニュース放送

・特別展関連

「BSNニュース ひるおび内ローカルニュース、ゆうなび」2本

令和5年10月4日(水) 11:49～ 放送「會津八一と棟方志功」開催中

○CM：テレビ 311本

- ・9/5～10/2 「會津八一と棟方志功」告知 15秒(90本)
- ・10/3～12/10 「會津八一と棟方志功」開催中 15秒(221本)

ラジオ432本

- ・9/5～10/2 「會津八一と棟方志功」告知 30秒(112本)
- ・10/3～12/10 「會津八一と棟方志功」開催中 30秒(320本)

ラジオ番組出演

- ・10/23(月)「3時のカルテット」生出演 松村雄基氏、角田勝久氏、喜嶋学芸員

○BSN HP

- ・10/3～12/10 BSNイベント内 ページ開設

[NHK新潟]

○テレビ：企画展「八一を知る八一がわかる－短歌編－」開幕 令和5年4月4日(火) お昼のニュース放送

[新潟市]

③市報にいがた

展覧会情報＝月1回全12回、イベント募集＝4回(市報にいがた別冊内)、

④LINE

展覧会情報＝4回、イベント募集＝2回(トークイベント、いしぶみ散歩)

(コ) 学校団体見学

30校=346人、小学校2校、中学校16校、高校12校

(令和4年度=13校 227人=小学校2校、中学校9校、高校1校、大学1校)

4月14日	新潟市立南浜中学校	5人
4月18日	新潟市立曾野木中学校	19人
4月25日	新潟市立関屋中学校	5人
4月26日	福島県・會津若松市立湯川中学校	4人
5月10日	県立長岡聾学校	24人
5月12日	新潟市立月潟中学校	4人
5月16日	新潟市立藤見中学校	6人
5月17日	新潟市立巻西中学校	6人
	新潟市立宮浦中学校	6人
5月19日	東京学館新潟高校	41人
5月24日	新潟市立木崎中学校	20人
6月11日	村上市立岩船小学校、神納小学校	19人
7月5日	新潟市立鳥屋野中学校	2人
7月31日	新潟県立新潟高校	8人
	新潟県立新津南高校	3人
	新潟県立向陽高校	3人
	東京学校新潟高校	9人
	新潟第一高校	11人
	北越高校	4人
10月3日	新潟市立新津第5中学校	16人
10月4日	新潟市立潟東中学校	62人
10月11日	新潟市立関屋中学校	2人
10月12日	新潟市立葛塚中学校	4人
10月26日	新潟県立高田北城高校	4人
	新潟県立十日町総合高校	4人
	新潟県立新井高校	26人
	新潟県立新津南高校	6人
10月27日	新潟市立下山中学校	11人
10月29日	新潟県立新潟高校	12人